

令和8年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

I 基本方針

令和8年度は、安定した施設運営を継続するための基盤整備を最重要課題とし、稼働率の確保、人材不足への対応、ICT・設備投資による業務効率化と安全性向上を図る。あわせて、法令遵守およびリスク管理体制を強化し、利用者が安心して生活できる施設運営を推進する。

II 重点目標

- 1.稼働率の確保
(ア)入退所管理の強化と待機者情報の適切な管理
(イ)病院・居宅介護支援事業所等との連携強化
(ウ)早期入所調整および空床期間の短縮
- 2.人材不足対策
(ア)日本人人材の確保
①求人媒体の見直しおよび活用強化
②職場見学・体験受入れの積極的実施
③働きやすい職場環境整備(シフト調整、業務負担軽減)
④定着率向上に向けた教育・研修体制の充実
(イ)外国人人材の受入れ・育成
①特定技能・技能実習等の制度を活用した計画的な受入れ
②日本語教育および介護技術研修の実施
③生活支援・相談体制の整備による定着支援
- 3.介護ソフトの円滑な運用
(ア)介護記録ソフトの操作研修の継続実施
(イ)記録様式の統一による入力負担の軽減
(ウ)情報共有の迅速化による業務効率向上
(エ)ICT活用による記録時間削減とケアの質向上
- 4.業務見直し・環境整備
(ア)ICT化、設備更新、職場環境改善に関する各種補助金の積極的活用
①移乗支援、見守り、記録支援等の介護ロボットの導入により、職員の業務負担軽減を図る。
②インカム等の通信機器を導入し、職員間の迅速な情報共有を可能とすることで、緊急時対応力の向上および業務の効率化を推進する。
③清掃ロボットを導入し、共用部等の清掃業務の省力化と衛生環境の維持・向上に努める。
④これらのICT・ロボット機器の活用により、職員の安全確保および身体的負担の軽減を図るとともに、介護サービスの質の向上につなげる。
(イ)災害時電力確保対策
①非常用電源設備の点検・整備
②停電時における介護継続体制の強化
(ウ)災害想定ゲーム「KIZUKI」を用いた防災訓練の実施と職員の意識向上
- 5.安全管理・運営体制の強化
(ア)高齢者虐待防止・予防対策の推進
高齢者虐待防止指針に基づき、高齢者虐待防止対策担当者を配置する。職員への周知・研修を継続的に実施し、虐待の未然防止および早期発見に努めるとともに、介護サービスの適正な提供を徹底する。
(イ)感染症および災害への対応力強化
感染症・災害時対策として策定したBCP(業務継続計画)について、定期的な見直しを行う。また、委員会主導による災害想定ゲーム「KIZUKI」を活用した訓練(シミュレーション)等を計画・実施し、職員の対応力および危機意識の向上を図る。
(ウ)事故予防対策
事故発生防止のための指針に基づき、事故予防安全対策担当者を配置する。ヒヤリ・ハット事例の共有や再発防止策の検討を行い、事故の未然防止と介護サービスの質の向上に努める。
(エ)給食・調理業務の安定化
調理員の増員を可及的速やかに行い、給食・調理業務の安定化を図る。あわせて、物価高騰による調理済食材を含む給食材料費の上昇に対しては、調理機器の更新等による業務効率化を進め、経費抑制に努める。
- 6.創立時よりの理念(理想)・目標の周知と再認識
(ア)「愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に、利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指す」という創立時よりの理念および目標について、職員への周知と再認識を図る。日々のケアや業務に理念を反映させ、利用者本位の施設運営を推進する。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
	勘定科目	寿楽荘会計
事業活動	事業活動収入計①	811,582,000
	事業活動支出計②	813,778,000
	事業活動資金収支差額③(①－②)	-2,196,000
施設設備等	施設整備等収入計④	0
	施設整備等支出計⑤	10,600,000
	施設整備等資金収支差額⑥(④－⑤)	-10,600,000
その他の活動	その他の活動による収入計⑦	16,796,000
	その他の活動による支出計⑧	4,000,000
	その他の活動資金収支差額⑨(⑦－⑧)	12,796,000
	予備費支出⑩	0
	当期資金収支差額合計⑪(③＋⑥＋⑨－⑩)	0
	前期末支払資金残高⑫	273,038,998
	当期末支払資金残高⑬(⑪＋⑫)	273,038,998